

令和6年度 文京区立昭和小学校 授業改善推進プラン

第2学年

教科	指導上の課題の分析⇒	指導の在り方⇒	授業改善の視点
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉の特徴や使い方を、理解はしていても実際に活用できない児童が多い。 ○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さを工夫できている児童が一部に限られている。 ○グループ学習や全体共有の場面で、相手の話に関心をもち、話をつなぐことができない児童が見受けられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近なことを表す語句の指導に重点を置き、使いこなせる語句の量を増やし、語彙を豊かにしていく。 ○自分が話す内容を確認め、何を伝えたいのかを意識させるように促す。 ○相手の発言を聞いて、質問する、復唱して確かめる、共感を示す、感想を言うといった様々な活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○書く活動の中で、例を示しながら自分の表現にあったものを選びせ、表現の幅を広げていく。 ○誰に伝えるのか、対象を明確にすることで、その場にあった発表のあり方を考えられるようにする。 ○他者の発表のよかった場面を伝える場面をつくり、他者を認め合い、かわりあうよさに気が付けるようにする。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○課題に対し、前向きに取り組む児童が多く、ノート書き方も定着してきたが、発表することに対して消極的である。 ○計算の仕方を理解し、正しく行うことに個人差がある。 ○量の見当をつけたり、測定したりすることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題解決の時間を確保し、個別に声かけを行う。自分の考えを順序よく説明するためにタブレット端末を用いたり、小集団の時間を設定したりする。 ○授業で計算の仕方をおさえ、宿題プリントやタブレット端末を用い、繰り返し計算練習を行わせる。計算能力にはかなり差があるので、個に応じた問題に取り組ませる。 ○日常の事柄と関連させながら指導する。その単元を学習しているときだけではなく、長さや量や時間などについて継続して指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○式や言葉、図、グラフ等、多様な考えをもてるように指導する。小集団で考えを発表し合ったり、他の児童の考えを自分の言葉で発表させたりする。 ○必要に応じて具体物や図を用いることで、数の表し方や計算の仕方を捉えさせる。基準にする量を明確にした指導を行う。 ○日頃から身の回りのものの量に着目させ、日常生活の中で量感を養わせる。実測を伴う活動を多く取り入れることで、量や時間を適切に表すことができるようにさせる。
生活	<ul style="list-style-type: none"> ○自分達の町が好きで、元気よく挨拶することもできるが、多くの人の働きによって、安全で快適に生活できていることまでは気づいていない。 ○身近に自然が少なく、日常的に自然や生き物に触れる機会が少ないため、意識的に関わる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○実際に公共施設やお店に訪問し、そこでの人々の活動や願いを知り、感謝の思いをもたせる。 ○校庭や町の中で見つけた虫や植物、四季の変化などを意識的に取り上げ、身近にある自然に気づかせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○町たんけんに行き、働く人達の話を知ったり、質問したりして、町のために働く人がいることに気づき、思いや願いを知る。また、気づいたことや感じたことを交流し、思いを深める。 ○校庭など同じ場所で四季の変化を探る活動から違いに気づかせたり、町の様子が季節ごとに変化していく様子を捉えさせたりするなど、身近にある自然を大いに活かして活動する。

音 楽	<p>○鍵盤ハーモニカの演奏技術や運指に個人差が大きい。</p> <p>○鍵盤ハーモニカだけでなく、特殊楽器の扱い方が雑になっている。</p> <p>○それぞれの音、リズムはしっかりと理解できているが、人の発表を聞けていない。</p>	<p>○見本や運指や音を確認し、ゆっくりでも全員が確実に演奏できるように指導する。</p> <p>○楽器の特性や扱い方を理解し、丁寧に扱えるようにする。</p> <p>○正しい座り方について指導をする。</p>	<p>○ペアでお互いの運指を見たり、音を聴き合ったりし、教え合いの活動を取り入れる。</p> <p>○楽器に実際に扱う際に、使い方だけでなく、片付けの方法についても指導をする。</p> <p>○歌う姿勢、演奏する姿勢を常に声をかけ、気を付けられるように指導する。</p>
図 工	<p>○どの題材にも意欲的に楽しんで取り組めるが、最後まで根気よく、丁寧に仕上げることが難しい児童がいる。</p> <p>○のりやはさみ、絵の具など道具の扱い方が十分に習得できていない児童がいる。</p>	<p>○どの程度まで仕上げればよいか明確にしたり、友達の作品を見て作品のイメージを広げたりする。</p> <p>○道具を使う活動を多く取り入れ、道具の扱いに慣れるとともに、正しく扱えるように、その都度指導する。</p>	<p>○制作に入る前に完成のイメージを具体的に伝え、制作中には個別に指導する。また上手な作品を紹介し、イメージを深めさせる。</p> <p>○活動の初めに道具の扱い方のポイントを確認したり、必要であれば教師が手本を見せたりし、正しい扱い方を知る。さらに、扱い方が不十分な児童には、活動中に個別に指導をする。</p>
体 育	<p>○基本的な動き(体のバランスをとる・用具を操作する動きなど)が身に付いていない児童が多い。</p> <p>○運動遊びの行い方を工夫し、他者(教師や友達など)に伝える児童が一部に限られている。</p> <p>○きまりを守り誰とでも仲よく運動したり、健康・安全に留意したりし、意欲的に運動できる児童、そうでない児童の二極化が見られる。</p>	<p>○それぞれの運動遊びの楽しさに触れることを大切にしながら、発達段階や指導内容、体力の状況に十分に留意して行う。</p> <p>○運動遊びをする場所や練習の仕方などを自らの力に応じて工夫したり選択したりさせる。</p> <p>○順番やきまりを守り、誰とでも仲よく運動したり、運動をする場所や器具の安全に気を付けたりするなど、誰もが意欲的に運動遊びに取り組む態度を培う指導が必要。</p>	<p>○授業前半にコーディネーショントレーニングを取り入れ、基本的な動きに必要な能力を身に付けてから、基本的な動きの指導をする。</p> <p>○児童の実態に応じて運動遊びをする場や用具を複数用意し、児童自らが選択しや工夫をして運動できるようにする。</p> <p>○きまりやその時間の活動内容をグループで決め、運動する時間を設定することで、対話を重ねながら、仲よく安全に運動できるようにする。</p>